

【土木学会主催シンポで野崎オリコンサル社長 エリアマネジへ取り組み成果紹介】

エリアマネジへの 取り組み成果紹介

土木学会主催シンポで
野崎オリコンサル社長

土木学会インフラメンテナンス委員会（委員長・久田真東北大学教授）が主催したシンポジウム「インフラメンテナンスが拓く我が国の未来」に、オリエンタルコンサルタンツの野崎秀則社長が登壇し、写真。「エリアマネジメントに向けて」と題して話題提供したほか、パネルディスカッションにも参加し、これからのインフラメンテナンスのあり方について幅広く意見を交わした。

野崎氏は、コンセッション（運営権付与）方式により南



紀白浜空港を運営する南紀白浜エアポートと業務提携し、空港土木施設アセットマネジメントと、空港を拠点とした地域活性化支援、その一環としての夏季イベント時での地域の渋滞対策に取り組んだ成果などを紹介。さらに道路維持管理において自治体では全国初のECI（施工予定技術

者事前協議）方式による試行業務を提案・実施した奈良県田原本町での取り組みを説明した。

その上で、「社会価値創造企業」をスローガンに、社会課題の解決に向けて、各事業の施策立案から維持管理までの垂直統合と複数事業の複合化を推進していくことで地域全体のエリアマネジメント実現を目指す同社の経営姿勢をアピールした。

シンポジウムでは、南紀白浜エアポートの岡田信一郎社長も話題提供。「空港型地方創生」を目指す同社の取り組みを説明する中で、業務提携するオリエンタルコンサルタンツの運営支援についても紹介された。